

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-119	小学校	国語科	書 写	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 503	小学 書写 五年		

## 1. 編修の基本方針

文字を整えて書くための原理・原則を理解し、自分の課題と向き合って練習する過程をとおして、子どもたちは「学び方」を身につけます。

相手にわかやすく伝えるための書き表し方について考え、工夫する過程をとおして、子どもたちは「伝え方」を身につけます。

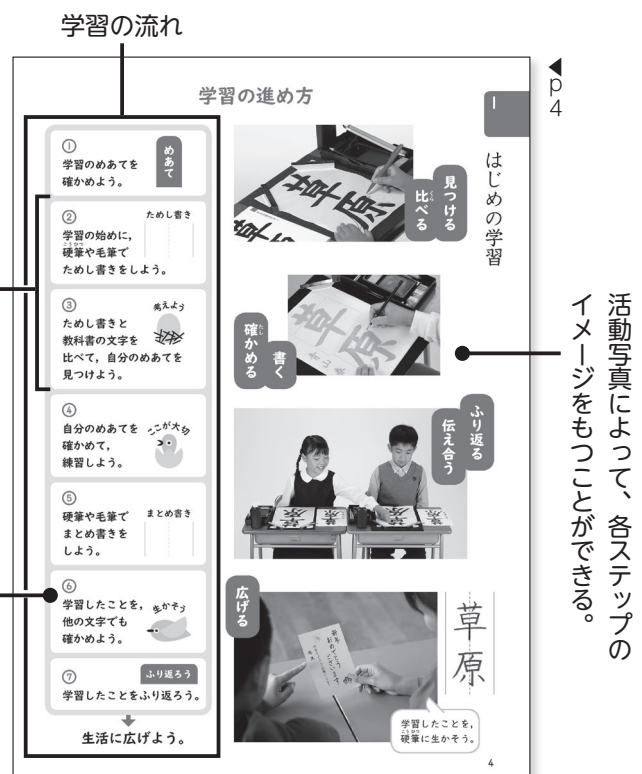
本書は、教育基本法に示された教育の目的（第一条）および目標（第二条の第1～5号）の実現に向けて、「学び方」と「伝え方」を軸に、生涯にわたって豊かな文字の使い手となるような教材を選定・構成しています。

### ① 「どのように学ぶか」の見通しがもてる

- 全学年に「学習の進め方」を収録しました。子どもの書字例や活動写真例を示すことで、自分の課題を解決していくための具体的な方法がわかり、意欲的・主体的に学習できます。

普段書いている自分の文字と教科書の文字とを比べて、課題を発見する。

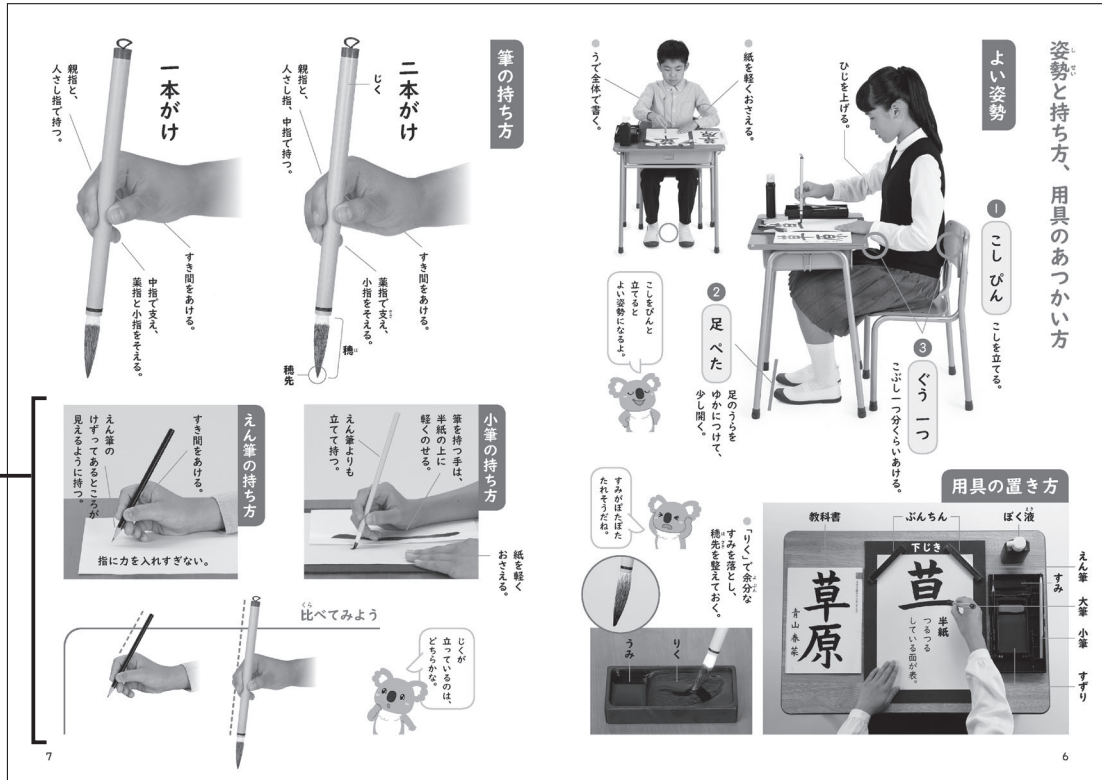
毛筆で学習したことを硬筆の文字や普段の学習活動で生かし、日常化を図る。



## ② 毛筆学習の基礎となる「用具の扱い方」「よい姿勢と持ち方」の習得

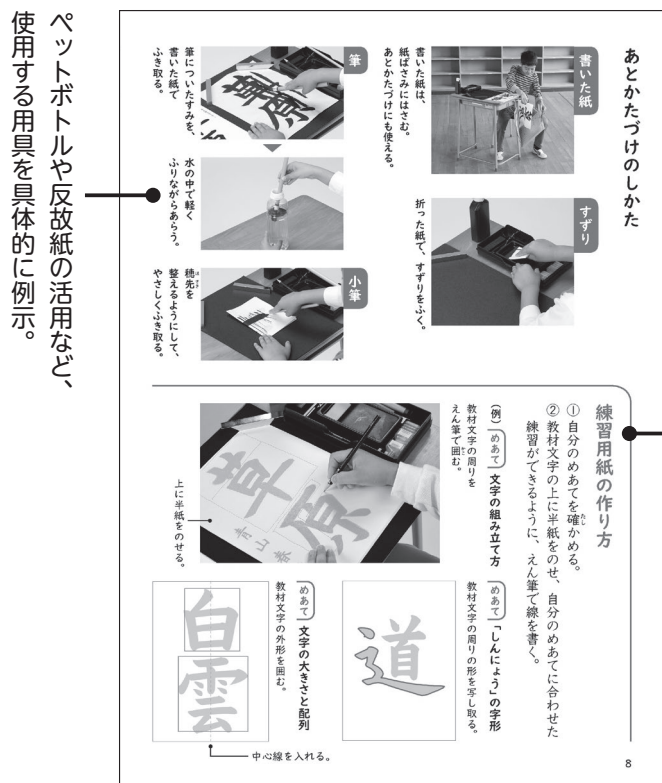
- 用具の扱い方、よい姿勢と持ち方の要点がまとめられており、確認しやすい紙面構成です。
- よい姿勢を保つには、腰を起こし、背筋を伸ばすことが大切です。姿勢や持ち方が崩れがちな高学年においてもよい姿勢と持ち方を習慣化できるように、見やすい図版と説明で定着を図ります。

▶ p.67



高学年においても、確認しておきたい要点を、見開きで簡潔に掲載。

▶ p.8

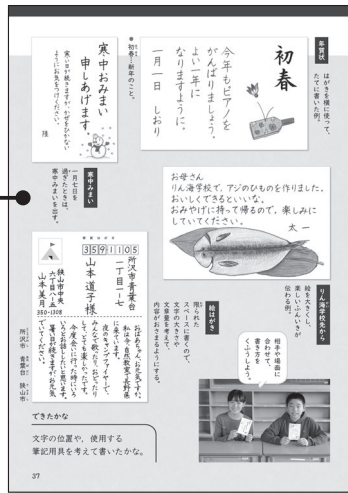


子どもが主体的に課題解決に取り組めるように、めあてに合った練習用紙の作り方を掲載。

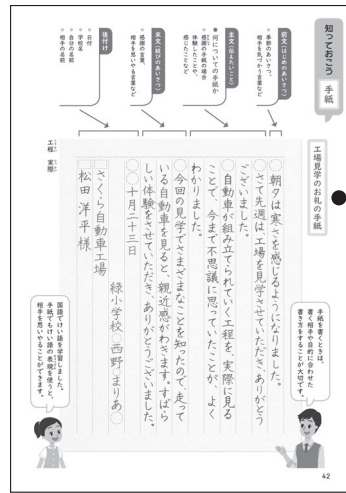
### ③ 書いて伝え合う心を育てる

●全学年に手紙やはがきの書き方を収録することで、学年の発達段階にふさわしい伝える力を育てていきます。5年生では、国語で学習する敬語との関連を図りながら、手紙で敬語の表現を使うと、相手意識をもった書き方ができることを学習します。

日本の伝統的な慣習である年賀状や、臨海学校からの絵はがきなど、場面や相手、書式に応じた多様な例を示すことで日常化を図ります。



▲p.37 年賀状，絵はがきを書く



▲p.42 工場見学のお礼の手紙

季節に合った挨拶の表現について知ることで、日本の伝統文化にふれます。文例は自動車工場見学の礼状や転任される先生への手紙を扱っており、子どもにとって身近な題材です。

### ④ 子どもの文字環境を豊かにする

●文字への興味・関心を高める教材は、各学年の発達段階に応じた題材を設定することで、子どもの実感をともなった知識・理解につながります。

●書き初めの行事をとおして、日本の伝統と文化への関心が高められるようにしました。

目的に応じた筆記用具の選択を学習する高学年において、場面に応じたさまざまな筆記用具と書き方の例を示しています。



▲表紙裏-p.1



▲p.45



▲p.45-48

毛筆教材として学習する「あこがれ」のもとになる漢字を知ること、平仮名の成り立ちについての興味・関心を高めます。



◀p.26-27▶

## 2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

### 教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

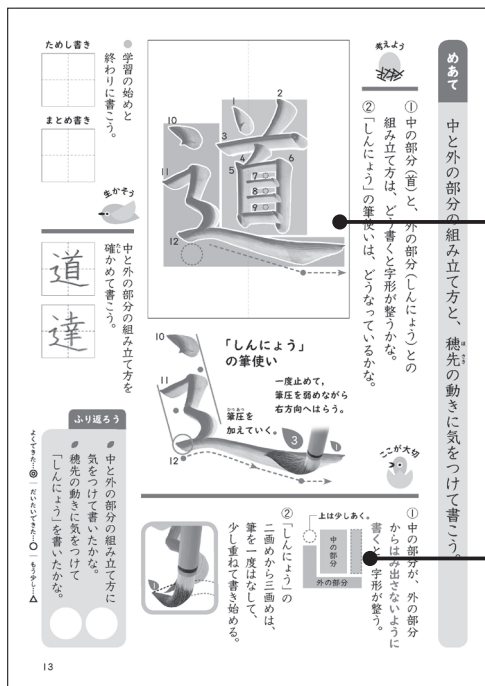
〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
1 はじめの学習	● 運筆しやすい姿勢・執筆法が定着するよう、よい筆記用具の持ち方と姿勢を丁寧に解説し、児童の健康に配慮しました。〈第1号〉	p6-8
2 文字の組み立て方 (中と外) 3 文字の組み立て方 (中と外) と、穂先の動き 4 筆順と字形 5 文字の大きさ (漢字どうし) 6 文字の大きさ (漢字と平仮名) 7 穂先の動きと、線のつながり 8 用紙に対する文字の大きさと配列 9 学習のまとめ 書きぞめ	● 基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養になるように配慮しました。〈第1号〉 ● 確かな書く力を養うことにより、主体的に社会の形成者として寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第3号〉 ● めあてを確かめて、その結果を評価する活動を継続することで、自主及び自律の精神を養うようにしました。〈第2号〉 ● 穂先の通り道が理解しやすい朱墨の図版を提示することで、適切に運筆する能力を高めるように配慮しました。〈第1号〉 ● 教材の児童名、キャラクターの男女比に配慮しました。〈第3号〉 ● 教材の言葉、文章として、生命を尊ぶ心の育成や、自然環境を意識できるように配慮しました。〈第4号〉 ● 書くことで日本語の美しさを体感でき、心が豊かになるような教材語句や文章を選定しました。〈第1号、5号〉	p9-10, 12-14, 16-18, 22-25, 27-29, 34-35, 38-40, 44-48
学習の進め方	● 「学習の進め方」を提示することで、児童が意欲的・主体的に学習する能力を高められるように配慮しました。〈第2号〉	p4
書きぞめ 【レッツ・トライ】 『竹取物語』を書く 【知りたい 文字の世界】 平仮名のもとになる漢字 8 用紙に対する文字の大きさと配列 【書いて 伝え合おう】 年賀状、絵はがきを書こう	● 書き初めの言葉として、『初春』『世界の国』を書くことによって、日本の伝統と文化への関心が高まるようにしました。〈第5号〉 ● 古典を書く活動をとおして、日本の伝統と文化を体感できるようにしました。〈第5号〉 ● 平仮名の成り立ちを知ることによって、我が国の文化を尊重できるように配慮しました。〈第5号〉 ● 年賀状や絵はがきを書く活動をとおして、日本の伝統と文化を体感できるようにしました。〈第5号〉	p44-48, 15, 26, 34-37
学習の進め方 【レッツ・トライ】 委員会のポスター 8 用紙に対する文字の大きさと配列 【書いて 伝え合おう】 年賀状、絵はがきを書こう 【知っておこう】 工場見学のお礼の手紙 【レッツ・トライ】 工場見学のメモ	● 学習の成果が認め合えるような教材を設けました。〈第3号〉 ● グループや個人で課題解決を行うことをとおして、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うように配慮しました。〈第2号〉 ● はがきや手紙の書き方を習得することで、幅広い知識と教養を身につけることができるように配慮しました。〈第1号〉 ● 礼状を書く活動によって、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。〈第3号〉 ● 学習した内容を、他教科や学校生活に生かしていく力を身につけるよう配慮しました。〈第2号〉	p4, 30-33, 34-37, 42-43, 19-21

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

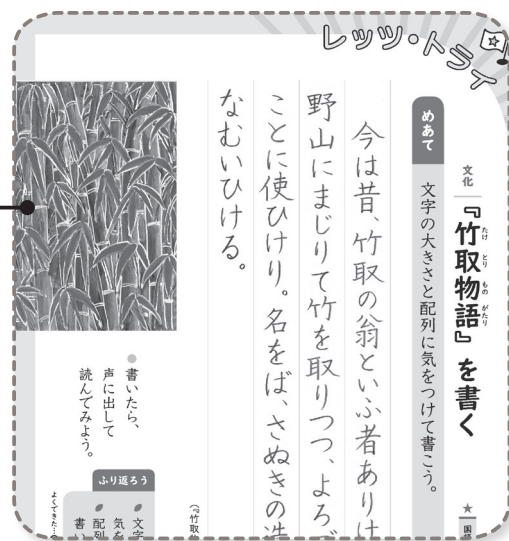
#### ●ユニバーサルデザイン (UD) による多様性への配慮



○カラーユニバーサルデザイン (CUD) や特別支援教育への対応  
色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字(ユニバーサルデザインフォント)などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

色覚の個人差を問わず、より多くの人に、見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れています。

▼p15



◀p13

#### ○「パラリンアート」の取り組み

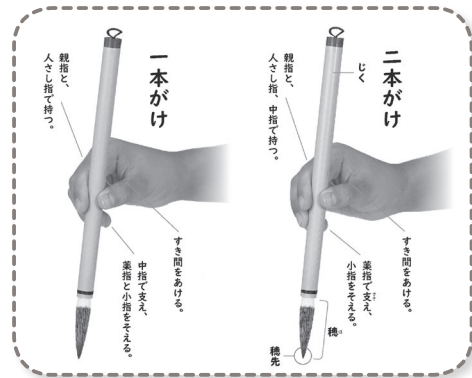
さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品(障がい者アート)を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

#### ●地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

#### ●堅牢な造本

- ・表紙には撥水コーティングを施し、墨や汚れに強い堅牢な造本となっています。
- ・裏表紙の氏名欄は型抜き加工がされているため、どんな筆記用具でも書き込むことができます。
- ・裏表紙では、全学年において、鉛筆・筆の持ち方の図版や写真を取り上げており、いつでも確認できます。



▲5年裏表紙 筆の持ち方

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-119	小学校	国語科	書 写	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 503	小学 書写 五年		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ① 学びやすく、教えやすい紙面構成

●「めあて」→「文字を書く原理・原則の理解」→「言葉を書いて応用を図る」→「振り返る」までの流れがわかりやすい紙面構成です。

・紙面で使用する色数を絞ることで、文字に注目できる、落ち着いたレイアウトです。

日常生活への活用場面

書写学習の基礎・基本の習得場面

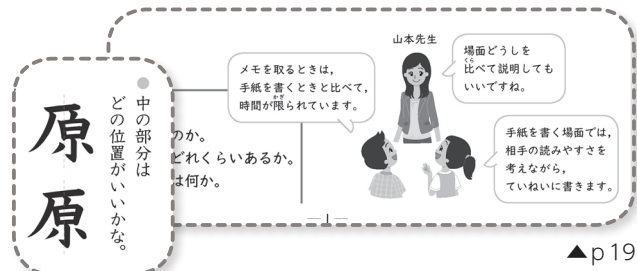
習得した書く力を、  
他の学習や、日常生活に  
活用する力を養う。

- ① **めあて**  
学習のめあてを確かめる。
- ② **ためし書き**  
学習の始めに、硬筆や毛筆でためし書きをする。
- ③ **考えよう**  
課題発見のための観点を  
知る。
- ④ **ここが大切**  
基準確認をする。自分の  
めあてを確かめて練習する。
- ⑤ **まとめ書き**  
硬筆や毛筆でまとめ書き  
をする。
- ⑥ **生かそう**  
学習したことを、他の文  
字でも確かめる。
- ⑦ **振り返ろう**  
学習したことを振り返る。



## ②「主体的、対話的で深い学び」につながる学習活動

- 文字を書くときの原理・原則が理解しやすい図版、文字を見るとき視点、他の文字への応用を図る手だて、友だちと伝え合う活動のための語彙など、「理解」「比較・分析」「活用」「伝え合い」の活動を支える学習材を豊富に掲載しています。



●中の部分はどの位置がいいかな。

▲p10

▲p19

- 用紙に対する文字の大きさや配列について学習する場面では、子どもにとって身近な題材である委員会のポスターを書く活動をもとに、課題解決学習に取り組みます。

▼p30-33

課題があるポスターをもとに、読みやすい書き表し方について考える。

筆記用具の特徴を知り、用途に応じた筆記用具について話し合う。

パソコンで作成するときも、書写で学習した書き表し方の工夫を応用できることを知る。

- 用紙に対する文字の大きさや配列について、基本となる事項を学習したあとに、さまざまなはがきの例を書くことで日常生活に生かすことができる構成です。

▲p34-36

### ③ 穂先の通り道が明快で、毛筆の特性が理解できる図版

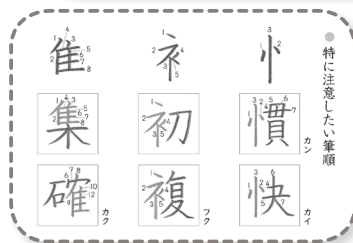
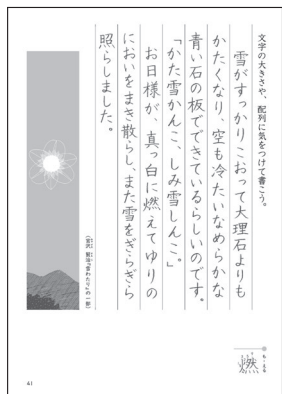
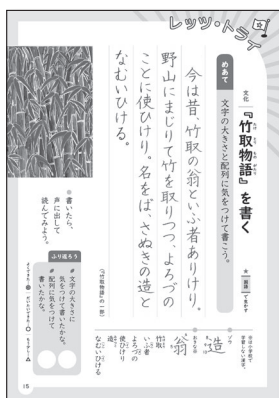
- 穂先の通り道を朱墨で明快に示した図版は、高学年の指導事項である「穂先の動きと点画のつながりを意識して書く」ことを習得するのに活用できます。ほぼ全ての教材において、この朱墨と薄墨を使った図版を掲載しています。
- 筆使いに重点をおく教材では、丁寧に扱っています。



p 28  
29

### ④ 国語力の基礎を養う

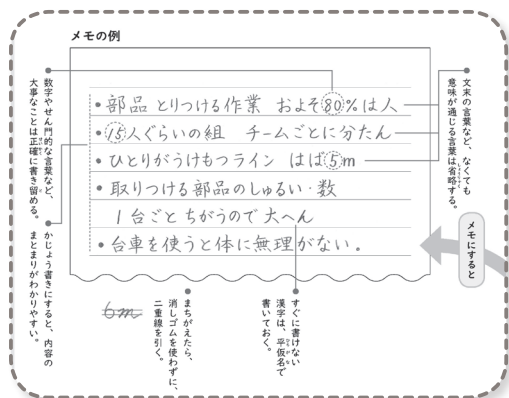
- 国語で学習した古典や文学教材を書写で視写することで、内容をより深く味わうとともに、豊かな言語感覚を養います。
- 国語の漢字学習との連携として、書写学習の観点から、筆順のきまりや、誤りやすい筆順の漢字などを扱っています。



p 18

### ⑤ 他教科での活動や言語活動のなかで生かせる「活用力」を身につける

- 身につけた書写力が、学校生活や学習活動の「どの場面」で生かせるのかが、すぐにわかるように構成されています。



p21 工場見学のメモ (社会)



p1 ホワイトボード (算数)



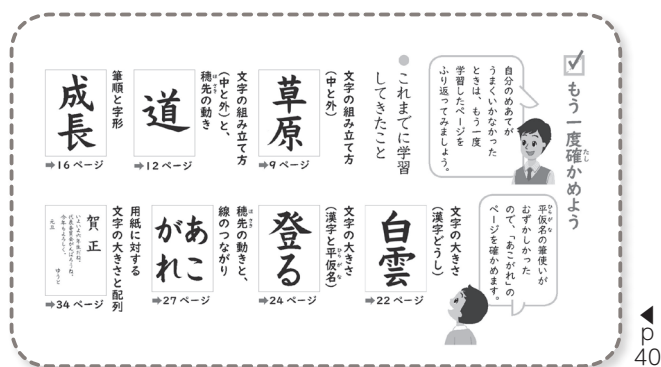
p34 HAPPY NEW YEAR (外国語)



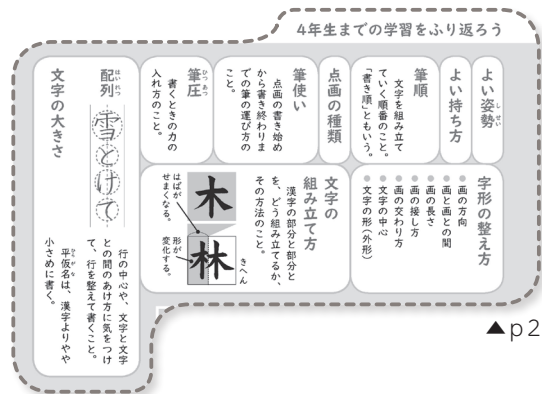
## ⑥ その他の配慮事項

### ● 「何ができるようになったのか」 を確かめる

- 学習のまとめ教材に取り組むなかで、うまくいかなかったところについて、学習してきた各教材を振り返ることで、習得できる構成になっています。



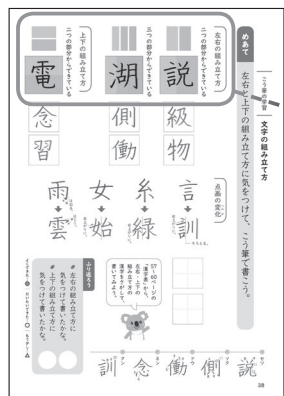
- 前学年で学習したことの振り返りと、当該学年で学習することを、冒頭のページで俯瞰することができます。



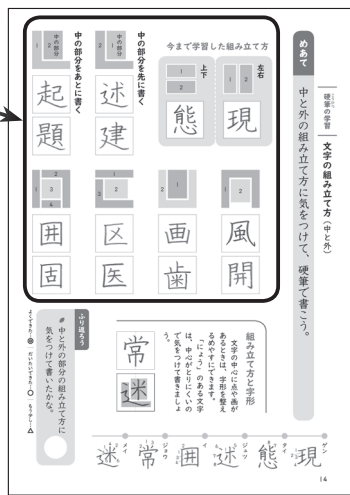
### ● 学年間の円滑な接続

学年をまたいで共通の図版を用いたり、既習事項を次学年に再掲したりすることで、学習したことを振り返り、確実な定着を図ります。

▼ 4年 p38



▼ 5年 p14



### ● 程度・分量

内容と程度は、子どもの発達段階や語彙・言語環境などを考慮して、言葉としても適切で、書写の学習要素が理解しやすい文字や語句を選んで教材化しています。語句を書くことで、日本の伝統文化のよさを感じ、豊かな心を育むような言葉を選定しています。



- 漢字の字体については、学習指導要領に示された字体を拠りどころにし、穏健・中正で書きやすく、子どもに親しみやすいものとしています。

- 教材の分量は、年間30～35単位時間程度で、指導事項を過不足なく効率的に学習できるようにしています。

## 2. 対照表

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

- (ア) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。
- (イ) 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。
- (ウ) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
場面に合わせた書き方のくふう	ア ウ	表紙裏～p1	2
五年生で学習すること 四年生までの学習をふり返ろう 目次	ア ウ	p2～3	
1 はじめの学習	ア イ ウ	p4～8	
2 文字の組み立て方（中と外）	ア イ ウ	p9～10	2～3
知りたい 文字の世界 「『活字』について知ろう」	ア ウ	p11	適時
3 文字の組み立て方（中と外）と、穂先の動き	ア イ ウ	p12～13	3
硬筆の学習 文字の組み立て方（中と外）	ア ウ	p14	
レッツ・トライ 「『竹取物語』を書く」	ア ウ	p15	1
4 筆順と字形	ア イ ウ	p16～17	2～3
硬筆の学習 筆順と字形	ア ウ	p18	
レッツ・トライ 「工場見学のメモ」	ア ウ	p19～21	1
5 文字の大きさ（漢字どうし）	ア イ ウ	p22～23	4～5
6 文字の大きさ（漢字と平仮名）	ア イ ウ	p24～25	
知りたい 文字の世界 「平仮名のもとになる漢字」	ア ウ	p26	適時
7 穂先の動きと、線のつながり	ア イ ウ	p27～29	3
レッツ・トライ 「委員会のポスター」	ア ウ	p30～33	2
8 用紙に対する文字の大きさと配列	ア イ ウ	p34～35	2
書いて 伝え合おう 「年賀状、絵はがきを書こう」	ア イ ウ	p36～37	適時
9 学習のまとめ	ア イ ウ	p38～41	4～5
知っておこう 「工場見学のお礼の手紙」	ア ウ	p42～43	適時
書きぞめ	ア イ ウ	p44～48	4～5
漢字表 五年生で学習する漢字 四年生で学習した漢字	ア ウ	p49～52	適時
平仮名表 すみ・すずり・紙の作り方	ア ウ	p53	
		計	30～35